

「周知の埋蔵文化財包蔵地」以外での調査依頼文書（記入例）

第 号

令和〇〇年〇〇月〇〇日

伊万里市教育委員会 教育長 様

事業主体者 住 所 〒000-0000 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地

氏名等 ◇◇◇◇

担当部署 〇〇部 〇〇課 〇〇係 担当 〇〇〇〇

電 話 FAX

代行者等

住 所 〒000-0000 〇〇県 〇〇市 〇〇町 〇〇番地

氏名等 △△△△

担当部署 〇〇部 〇〇課 〇〇係 担当 〇〇〇〇

電 話 FAX

「周知の埋蔵文化財包蔵地」以外での埋蔵文化財等の所在有無の
調査依頼及びその取扱いについて

別紙のとおり工事を予定しておりますが、計画区域内の埋蔵文化財等の状況把握のため、現地踏査（※1）及び確認調査（※2）を依頼し、埋蔵文化財等の有無とその取扱いについて照会します。

※1【現地踏査】

実際に現地を歩き、地形や地表面の遺物（石器や土器）などから確認調査の必要性を判断します。

※2【確認調査（試掘調査）】

開発地内に試掘坑を現場に応じて複数箇所設定し、重機もしくは人力で掘り下げ、遺跡の有無を確認します。

裏面へ⇒（「別紙」の記入例は裏面にあります）

記

1 所在地	伊万里市 ○○町 ○○字 ○○ ○○番地・○○番地		
2 面積	○○○○㎡	《筆数が多い場合は、別紙を作成してください。》	
3 土地所有者	氏名等：○○○○ 《所有者が多い場合は、別紙を作成してください。》		
	住 所：伊万里市 ○○町 ○○番地		
4 現 状	宅地 水田 畑地 山林 道路 荒蕪地 原野 その他（ ）		
5 工事の目的 (必ず一つに○)	道路 鉄道 空港 河川 港湾 ダム 学校 集合住宅 個人住宅 工場 店舗 個人住宅兼工場または店舗 その他建物（ ） 宅地造成 土地区画整理 公園造成 観光開発 ガス・電気・水道等 土砂採取 下水道 その他の開発（ ） 自然崩落 農業基盤整備事業（農道等を含む） その他農業関連事業（農道等を含む）		
工事の概要	例) 表土を 20 cm除去後、北側を最大 80 cm削平し、南側を 1.5m埋め立てて整地する。基礎は 30 cmの床掘を行ない、ベタ基礎で木造 2 階建ての住宅 (○㎡) を 1 棟建築する。 <b style="color: red;">※土地の造成・整地、建築・構造物の基礎・構造の具体的数値を記載して下さい。		
6 施工責任者	住 所：〒000-0000 ○○県 ○○市 ○○町 ○○番地		
	氏 名 等：(株)○○建設 代表取締役 ○○○○		
	担当部署：○○部 ○○課 ○○係 担当 ○○○○		
	電 話：	上旬・中旬・下旬も可	FAX 上旬・中旬・下旬も可
7 着手予定時期	令和 年 月 日	8 終了予定時期	令和 年 月 日
9 協議等連絡先	事業主体者 ・ 代行者等 ・ 施工責任者		
10 調査の可能時期	・ 現地踏査 令和 年 月 日 以降 ・ 確認調査 令和 年 月 日 以降 ※確認調査（試掘調査）は現地踏査後の判断で必要となった場合に実施します。		
11 調査の経費負担	市負担（ただし調査に関わる経費のみ） ・ その他（ ）		
12 その他			
13 添付資料	○ 位置図、字図、計画平面図（敷地図）、造成平面図、造成断面図、基礎矩計図など ○ 文化財調査承諾書		

決まっていない場合は「未定」と記入

上旬・中旬・下旬も可

上旬・中旬・下旬も可

※書類は、ホッチキスは使わずにクリップで留めて下さい。

「周知の埋蔵文化財包蔵地」以外での調査依頼文書作成時の注意事項

※依頼文書は1部提出して下さい。押印は不要です。

※添付図面についてはホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。

【事業主体者】

機関・団体の場合は、代表者名を記入して下さい。押印は、不要です。

【1 所在地】

伊万里市から記載し、町名・字名・地番を記入して下さい。筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。分筆前の場合は「〇〇番地の一部」と記入して下さい。

【2 面積】

土木工事等の面積（開発対象面積）を記入して下さい。（分筆する場合は、分筆した後の土木工事等の面積を記入して下さい）

【3 土地所有者】

複数の場合は、枠内に下記のように記入するか、筆数が多い場合は、別紙を作成して下さい。

3 土地所有者	氏名等：〇〇〇〇	△△△△
	住 所：伊万里市立花町 0000 番地 1	伊万里市松島町 00 番地 1

【4 現状】

現状の地目を記入して下さい。該当するものを「○で囲む」もしくは「囲み文字」で記載して下さい。

【5 工事の目的】

該当するものを1つだけ「○で囲む」もしくは「囲み文字」で記載して下さい。

【工事の概要】

記入例：「表土を 20 cm 除去後、北側を最大 80 cm 削平し、南側を 1.5m 埋め立てて整地する。基礎は 30 cm の床掘を行ない、ベタ基礎で木造 2 階建ての住宅（〇㎡）を 1 棟建築する。」

※土地の造成や整地、建築物や構造物の基礎構造の具体的な数値を記載して下さい。

裏面へ⇒

【6 施工責任者】

工事の実務を行なう者です。施行業者名を記入して下さい。決まってない場合は「未定」で構いません。

【7 着手予定時期】

「〇月上旬」「〇月中旬」「〇月下旬」でも構いませんので、必ず記入して下さい。

【8 終了予定時期】

「〇月上旬」「〇月中旬」「〇月下旬」でも構いませんので、必ず記載して下さい。

【9 協議等連絡先】

今後の協議や書類送付先など、窓口となる方を「〇で囲む」もしくは「囲み文字」で記載して下さい

【10 調査の可能時期】

現地踏査、確認調査（試掘調査）を実施することができる時期を記入して下さい。

【現地踏査とは】

実際に現地を歩き、地形や地表面の遺物（石器や土器）などから確認調査の必要性を判断します。

【確認調査（試掘調査）とは】

開発地内に試掘坑を現場に応じて複数箇所設定し、重機もしくは人力で掘り下げ、遺跡の有無を確認します。

【11 調査の経費負担】

原則として市が負担します。（ただし調査に関わる経費のみです）

【13 添付資料】

位置図（1:25,000 程度のA 4判） 地形図（1:5,000～1:10,000 程度のA 4判）

字図 計画平面図（敷地全体図） 造成平面図 造成断面図

基礎矩計図 など

文化財調査承諾書

※字図以降の図面は、可能であればA 3判以内をお願いします。

※字図・計画平面図（敷地全体図）等には、工事範囲がわかるように朱書きしてください。

※計画平面図（敷地全体図） 造成平面図 造成断面図 基礎矩計図には縮尺を明記して下さい。

図面を縮小した場合は縮小後の縮尺を明記して下さい。

※ホッチキス使ったり、穴をあけたりしないで、クリップで留めて下さい。